

— 生命の安全教育を開催しました —  
～高校生活で起こりうる性暴力について～

文部科学省推進事業である「生命の安全教育」を、和歌山県教育委員会との共催で、9月14日（水）本校1学年対象に実施しました。高校生は人間関係が広がる中で、学校の先輩・同級生・後輩、交



際相手、指導者やアルバイト先の同僚など、身近な人から性暴力を受ける可能性も増えてきます。何がデートDVになり、どんな性暴力があるのか等、文部科学省教材に沿って、心と体の距離感、身近に起こりうる性暴力について学びました。また、JKビジネスやSNSの危険性等の性犯罪について、事例をあげてどのように行動すべきかを生徒たちに考えてもらいました。更に県教育委員会に出向中の警察官から、実際の被害例や犯罪者の言葉巧みに誘ってくる恐ろしさについてお話しいただきました。自分の行動によって今後どうなるかを常々考え、危機管理能力を身につけることが被害を防ぐ上で大事であること、また性被害に遭った場合の相談ダイヤルや信頼できる大人に話す等の対処方法を伝えてもらいました。生徒からは「SNSの使い方や、人との付き合い方に気をつけたい」、「様々なDVがあることがわかった」



「性犯罪は自分と無関係だと思わなくなった」等の感想がありました。この授業を通して更に自分を大切にすること、相手を尊重することについて考え、性犯罪や性暴力に巻き込まれないように正しい知識を持ち、行動力を養い、心豊かに成長して行ってほしいと思います。